令和 4 年度 東北大学 大学院理学研究科 数学専攻 入学試験問題

数学 - 共通問題

令和3年8月19日(9時30分から12時まで)

注意事項

- 1) 開始の合図があるまで問題冊子を開けないこと.
- 2) 問題は 4 題ある. 全問に解答すること.
- 3) 解答は各問題ごとに指定された解答用紙を用いること.
- 4) 受験番号を() 内に記入すること. また,氏名は書かないこと.
- 5) 問題冊子は、このページを含め全4ページである.

記号

Z:整数全体のなす集合

ℤ>0:正の整数全体のなす集合

②:有理数全体のなす集合

ℝ: 実数全体のなす集合

C: 複素数全体のなす集合

- $oxed{1}$ A を次の二条件を満たすような実 3 次正方行列とする.
 - (i) $v=\begin{pmatrix}1\\2\\3\end{pmatrix}$ は $(A-2I)^2v=0$ かつ $(A-2I)v\neq 0$ を満たす.ここで I は 3 次単位行列である.

$$(ii)$$
 $e_2=egin{pmatrix}0\\1\\0\end{pmatrix}, e_3=egin{pmatrix}0\\0\\1\end{pmatrix}$ はともに A の固有値 2 の固有ベクトルである.

以下の問いに答えよ.

- (1) $(p,q) \neq (0,0)$ を満たす実数 p,q で, $(A-2I)v = pe_2 + qe_3$ を満たすものが存在することを示せ.
- (2) 前問で得られた実数 p,q について, $A = \begin{pmatrix} 2 & 0 & 0 \\ p & 2 & 0 \\ q & 0 & 2 \end{pmatrix}$ が成り立つことを示せ.
- 2 $n \in \mathbb{Z}_{>0}$ と $b \in \mathbb{Z}$ に対し,

$$A_{n,b} = \{5^n t + b \mid t \in \mathbb{Z}\}$$

とおく、 \mathbb{Z} の部分集合族 $\mathcal{B}=\{A_{n,b}\,|\,n\in\mathbb{Z}_{>0},b\in\mathbb{Z}\}$ に対し、 \mathcal{O} を \mathcal{B} を開基とする \mathbb{Z} の位相(開集合系)と定める.

- (1) $A_{1,3}$ が位相空間 (\mathbb{Z},\mathcal{O}) の閉集合であることを示せ、
- (2) 位相空間 $(\mathbb{Z}, \mathcal{O})$ がハウスドルフであることを示せ.
- (3) $f:(\mathbb{Z},\mathcal{O})\to(\mathbb{Z},\mathcal{O})$ を以下で定める. $x\in\mathbb{Z}$ に対し, $x\in A_{1,0}$ のとき $f(x)=\frac{x}{5}$,それ以外のとき f(x)=x. このとき,f が連続であるかどうか,理由ととともに答えよ.

- 3 以下の問いに答えよ.
 - (1) f(x) を開区間 I=(a,b) 上で無限回微分可能な関数とする. ある実数 A,B>0 が 存在して

$$\sup_{x \in I} |f^{(n)}(x)| \le AB^n n! \qquad (n \in \mathbb{Z}_{>0})$$

が成り立つとする. 任意の $x_0, x \in I$ に対して、もし $|x-x_0| < 1/B$ ならば、級数

$$\sum_{k=0}^{\infty} \frac{f^{(k)}(x_0)}{k!} (x - x_0)^k$$

は絶対収束し、f(x) と等しくなることを示せ.

(2) 任意の $n \in \mathbb{Z}_{>0}$ および実数 -1 < x < 1 に対して、次の等式を示せ、

$$\frac{n!}{(1-x)^{n+1}} = \sum_{k=n}^{\infty} \frac{k!}{(k-n)!} x^{k-n}$$

(3) $\{a_k\}_{k=0}^{\infty}$ を実数列とし、r>0 を実数とする. 各 $x\in (-r,r)$ に対して級数

$$g(x) = \sum_{k=0}^{\infty} a_k x^k$$

が収束するならば、ある実数 A,B>0 と原点の近傍 $J\subset (-r,r)$ が存在して

$$\sup_{x \in J} |g^{(n)}(x)| \le AB^n n! \qquad (n \in \mathbb{Z}_{>0})$$

が成り立つことを示せ.

4 L>0 とする. $t \in [0,L)$ に対し,

$$I(t) = \int_0^\infty e^{-x^2} \cosh(tx) \ dx, \quad J(t) = \int_0^\infty x e^{-x^2} \sinh(tx) \ dx$$

とおく. ただし, $\sinh(x)$ と $\cosh(x)$ はそれぞれ

$$\sinh(x) = \frac{e^x - e^{-x}}{2}, \quad \cosh(x) = \frac{e^x + e^{-x}}{2}$$

で定義される関数とする. 以下の問いに答えよ.

- (1) I(0) を求めよ.
- (2) 広義積分 $I(t)=\int_0^\infty e^{-x^2}\cosh(tx)\ dx$ と $J(t)=\int_0^\infty xe^{-x^2}\sinh(tx)\ dx$ はともに t に関し [0,L) 上で一様収束することを示せ.
- (3) $t \in (0,L)$ に対して $I'(t) = \frac{t}{2}I(t)$ が成り立つことを示せ.
- (4) I(t) を求めよ.